

設置マニュアル Installation Manual

フリースタンディング冷凍冷蔵庫 XRFsdh 5265 Prime

最新版マニュアルのダウンロードはこちら



- 人への危害、財産の損害を防止するため、本書に記載されている事項を必ずお守りください。
- 設置・および施工において、本書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。
据付・設置は必ずお買い求めの販売店までご依頼ください。

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置および施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。

誤った使い方をしたときに生じる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告



注意

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で専用に設けてください。
- 電源プラグ周辺のほこりなどは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。
- 長期間使用しないときやお手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



- 濡れた手で、電源プラグに触らないでください。
- 電源プラグを、冷蔵庫の背面で押し付けしないでください。
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。
- 冷蔵庫の周囲は、必ず必要な放熱スペースを守ってください。
- 冷蔵庫の上には、絶対にものを置かないでください。
- 延長コードを使用する際は、必ずお控えください。
- 本製品は一般家庭専用です。業務用、あるいは屋外や戸外でのご使用はお控えください。

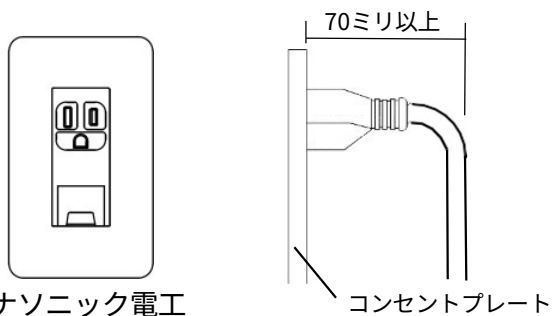


アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

電源と設置スペース

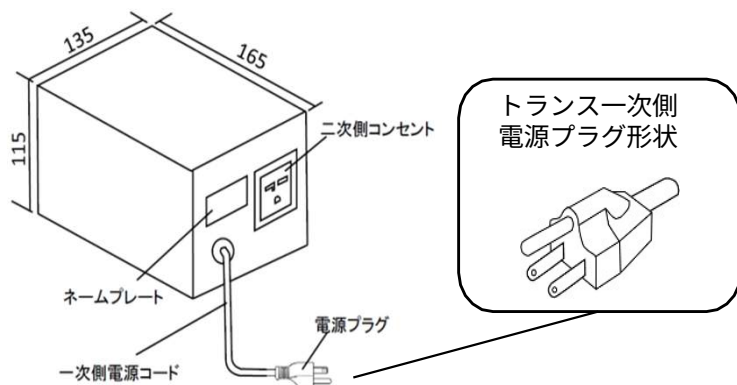
一次側電源コンセント

- 定格 15A以上、単相100Vの専用回路を設けてください。
- 一次側コンセントは必ずアースターミナル付接地コンセント（3P）をご用意ください。
- 本機器はコンセント差込口を並列で2箇所要します。



パナソニック電工
品番：WN1131（相当品）

昇圧トランス



【100V → 220-240V 昇圧トランス仕様】

- ・ 外形寸法（W x D x H）：135 x 165 x 115 mm
- ・ コード長さ：1.7m
- ・ 定格容量：600VA
- ・ 入力：単相100V・50/60Hz
- ・ 出力：単相 230V
- ・ 質量：6.3 kg

電源

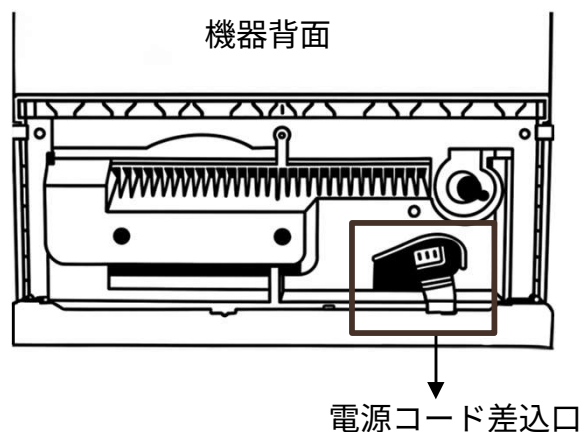
- 機器本体の定格電圧をご確認ください。
- 定格電圧：本機器は単相220-240Vの昇圧トランス（付属品）の接続が必要です。本体とは別途昇圧トランスのスペースを確保してください。（2個使用）

⚠ 注意

- 本機器の周辺適用外気温（室温）：10℃～43℃
- 機器は、暖房・温熱器具等からの熱気や直射日光の当たらない場所、湿気が少なく風通しの良い場所に設置してください。
- 通気が悪く湿気の高い設置環境では、機器の表面に結露が発生することがあります。
- 電源コンセントは、機器の仕様、定格電流にあったものをご用意ください。
- 昇圧トランスの仕様を参照の上、設置スペースをご用意ください。
- アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

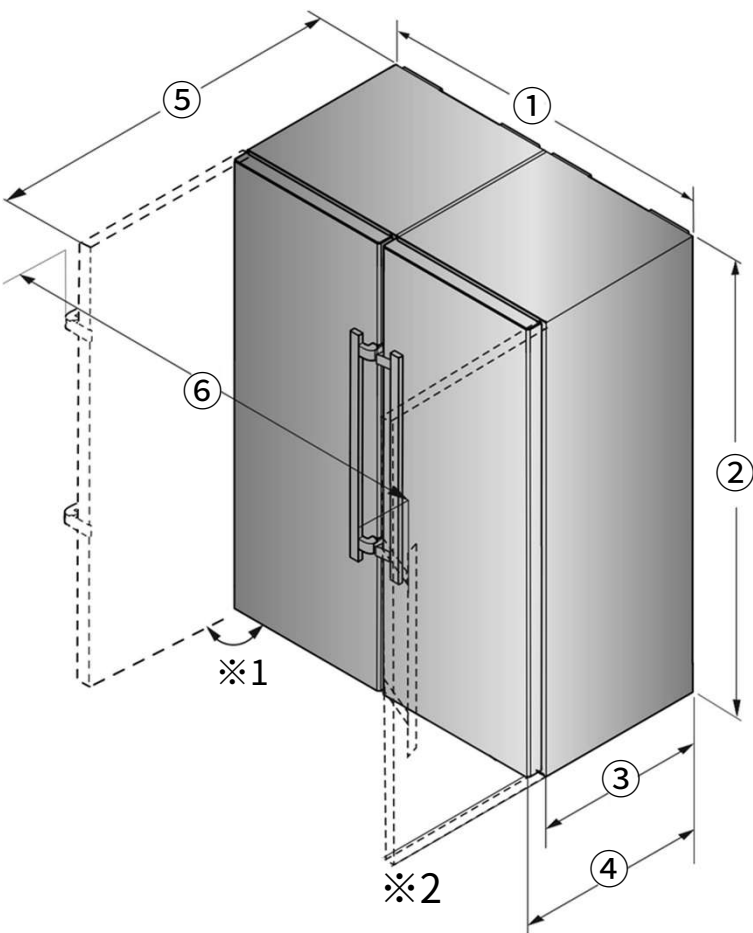
電源コードの差し込み

- 本体を押し込む前に、付属の電源コードを機器背面の電源コード差込口に差込んでください。



電源と設置スペース

機器本体寸法



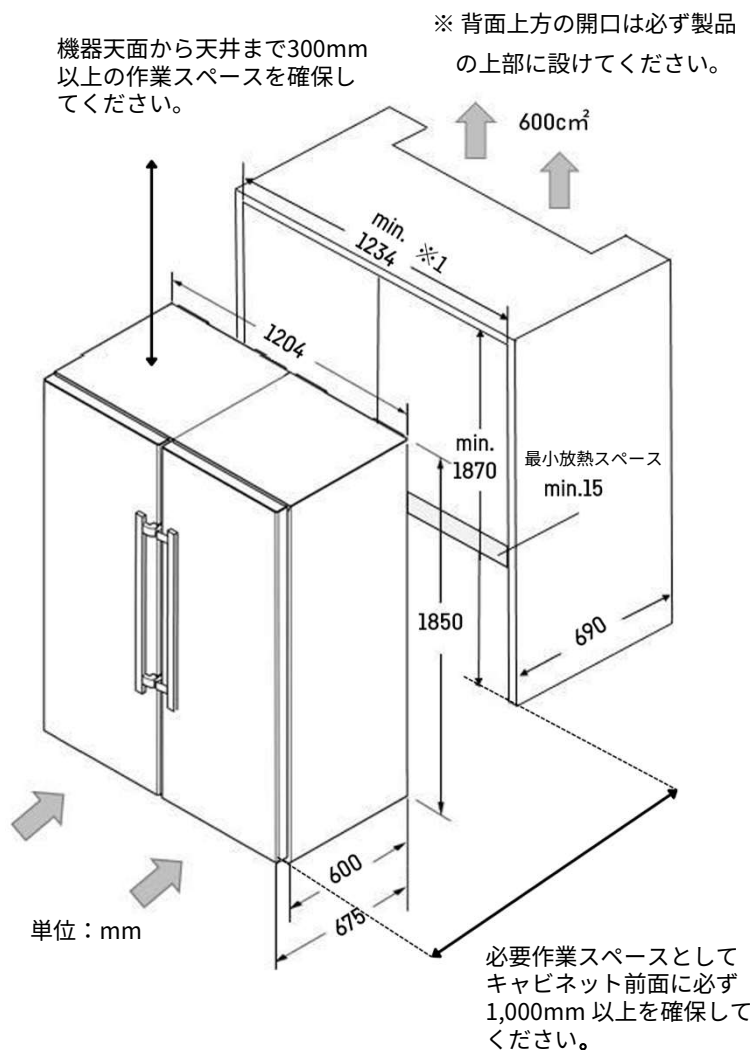
①	1204mm
②	1850mm
③	600mm
④	675mm
⑤	1222mm
⑥	1318mm

※ 1 ドア90°開閉時

※ 2 壁際に設置する場合は、壁との干渉防止のため、クリアランスを 57 mm 以上設けてください。

ビルトイン設置時の設置条件

- 本機器はキッチンキャビネットへのビルトイン設置が可能です。設置スペースについては以下の図をご参照ください。



ビルトイン時の最小放熱スペース

- 機器側面：各15mm ※1
- 機器背面： 15mm
- 機器上部： 20mm ※2

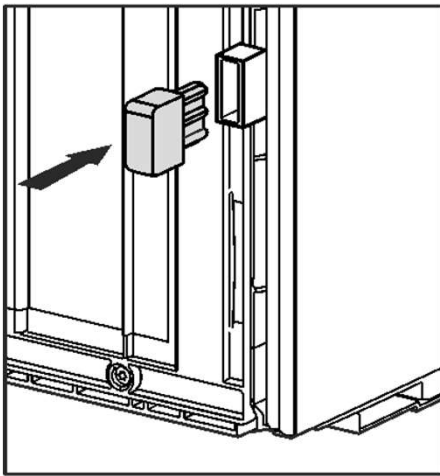
※ 1 本体ドア表面と隣接するキャビネットの表面を揃えて設置する場合は、クリアランスの条件が異なります。
詳細条件については6ページをご参照ください。

※ 2 背面上部に600cm²の開口を設けられない場合
または単独置き設置の場合は、最低でも上部の
クリアランス：50mm以上を確保してください。

電源と設置スペース

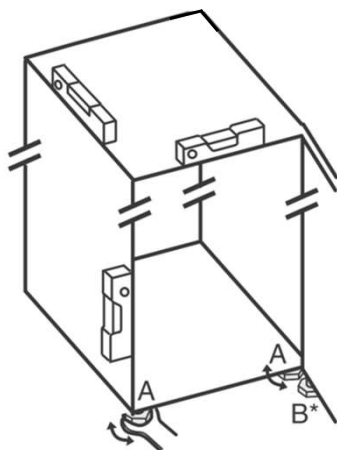
- 機器設置床面と機器前床面は、必ず水平・同レベルに仕上げてください。
- キャビネット前の必要作業スペースは4ページをご参照いただき十分に確保してください。
- 本体背面上方へは、最低600cm²の開口を設けてください。またその先を密閉するなど、空気の循環が遮られるような設置環境でのご使用はお控えください。
※ 最小放熱スペースは必ず確保してください。

本体の設置



- 本体を設置する前に、付属のスペーサー（15mm）を背面下部左右に取り付けてください。

水平の調整



- 高さ調整脚（A）を付属のスパナを使用して回し、本体を水平に調整してください。
- ドアのサポート：マウンティングブロック（B）の下にあるベースを床に触れるまで回してください。その後さらに 90°回して固定してください。

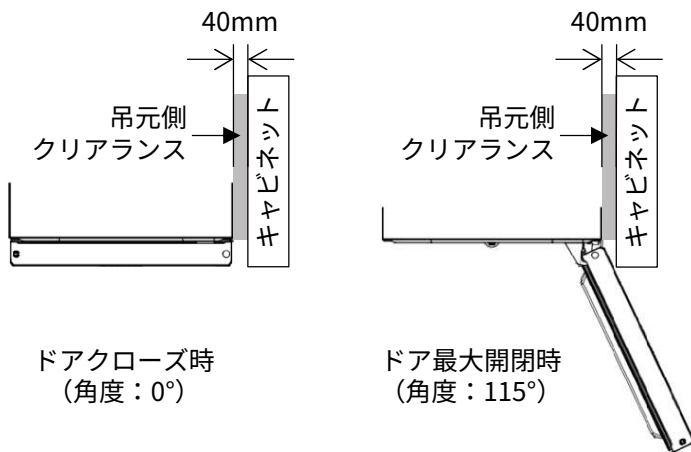
電源と設置スペース

ビルトイン設置時のドア開閉クリアランス

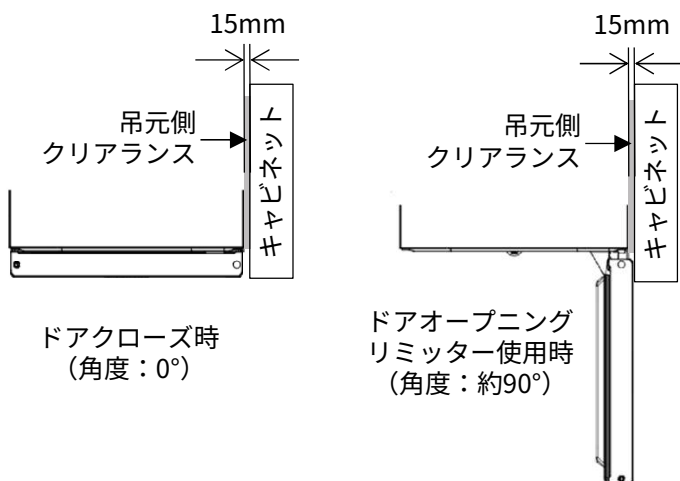
① ドア表面と隣接キャビネットの表面を揃える場合

- ドア表面と収納キャビネットの表面を揃える場合、吊元側のクリアランスを最低40mm確保してください（図A参照）。
- ドアオープニングリミッター（品番：9096414）を使用した場合は、吊元側のクリアランスを15mmにすることができます（図B参照）。

図A



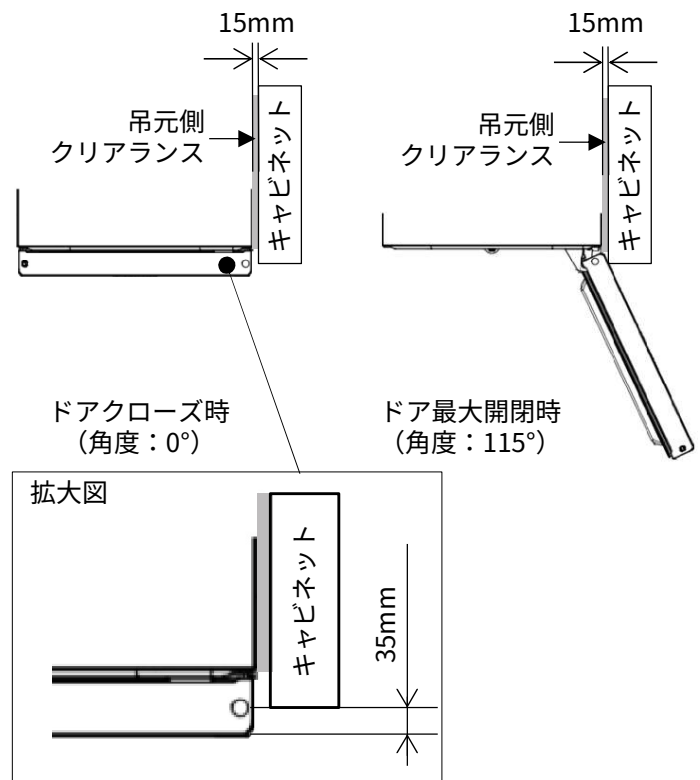
図B



② ドアの最大開閉角度を維持して機器と隣接キャビネットとのクリアランスを最小にしたい場合

- 製品ドア表面をキャビネット表面から35mm手前に引き出すことで、吊元側のクリアランス=15mmでドアを全開にすることができます。（図C参照）

図C



給水設備と給水接続

給水設備

- 本機器の自動製氷機能は給水接続工事を要します。
- 給水止水栓の立ち上げ（一次側工事）をご用意ください。→FL100～200mm

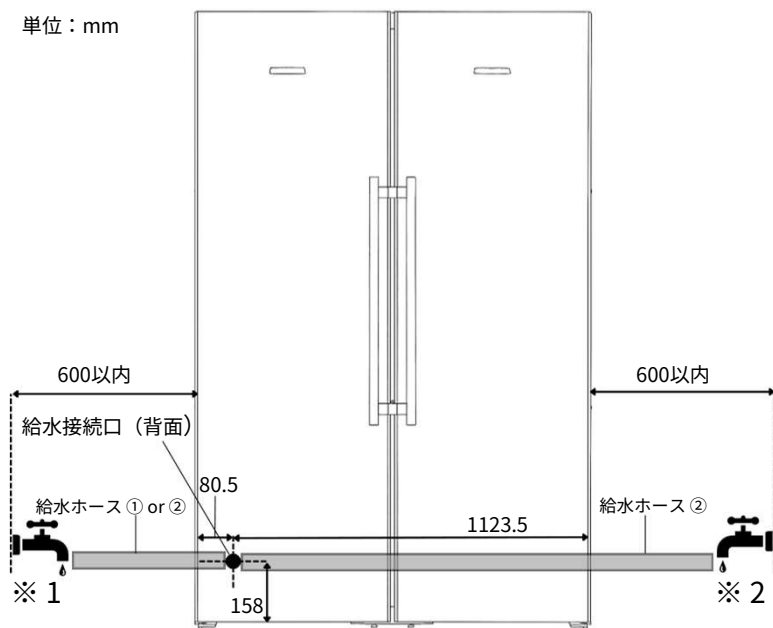
給水ホース

- ① 機器に同梱されている標準のフレキホース
長さ：1.5m 接続口（両端）：G3/4メネジ
- ② オプション品の3mフレキホース（別売）
長さ：3.0m 接続口（両端）：G1/2メネジ

給水止水栓 接続口

- 標準の給水ホース①を採用時：G3/4オネジ
- オプションの給水ホース②を採用時、もしくはオプション品の浄水器を採用時：G1/2オネジ

単位：mm

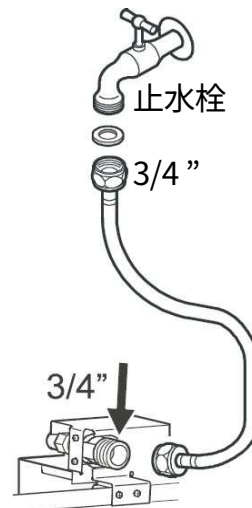


※1 機器左側に止水栓を設ける場合、給水ホース①または②をご使用ください。

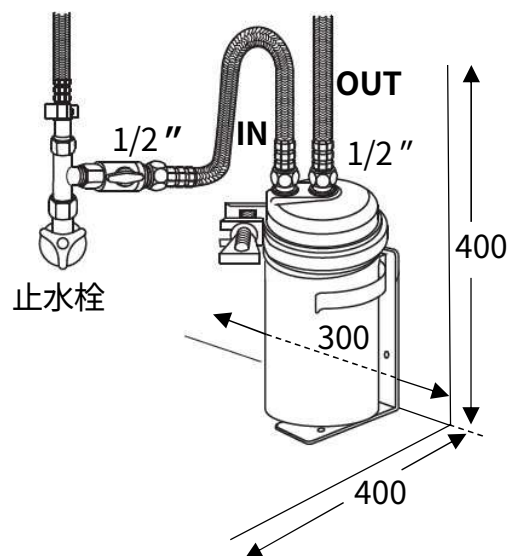
※2 機器右側に止水栓を設ける場合、給水ホース②をご使用ください。

施工例

施工例① 標準のフレキホースを使用



施工例② オプション品の3mホースと浄水器を使用



- 浄水器設置時の作業スペースとして最低でも幅300mm・高さ400mm・奥行400mm以上を確保してください。

オプション品

- ① アイスメーカー給水用 3m フレキホース
機器側：接続口用の袋ナット付き異径エルボ（G3/4）が同梱
- ② 自動製氷用 外付け 浄水器
株式会社メイスイ 本体型式：NFX-MC

給水設備と給水接続

水道水圧について

- 水道の水圧については下記の範囲内であることをご確認ください。

bar	1.5 - 6.2
MPa	0.15 - 0.62

警告

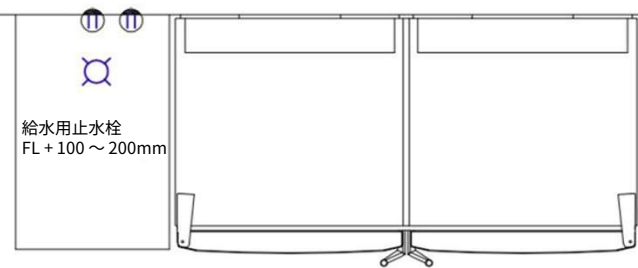
＜感電する恐れがあります＞

- 給水接続作業時は必ず電源プラグを抜いてください。

注意

- 配管内に溜まったゴミ等の洗い流しと、空気抜きのため、接続前に必ず止水栓を開き、通水をしてください。

隣接するキッチンユニット等に電源・給水設備を設ける場合

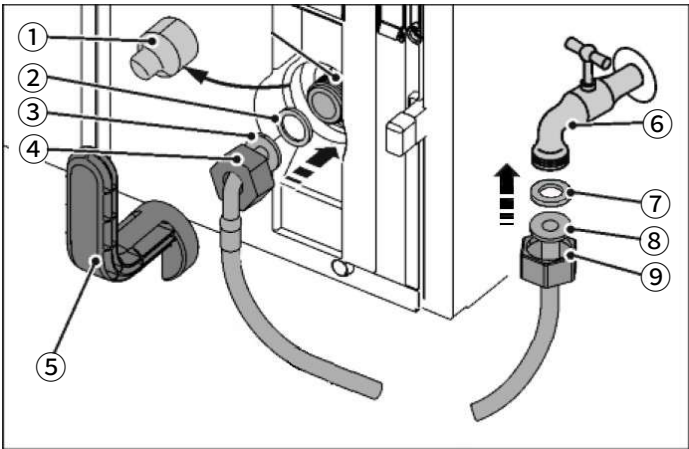


- 電源コンセントはFL + 300mm以上
- キッチンユニットの側板に電源コード・給水ホース引き込み用の開口Φ=50mmを必ず設けてください。

注意

- コンセントは機器を設置した状態でも、容易に電源コードを抜き差しできる位置に設けてください。
- 止水栓は容易に開閉できる位置に設置してください。

給水ホースの接続方法



①	キャップ	⑥	止水栓
②	パッキン	⑦	パッキン
③	給水ホース（本体側）	⑧	給水ホース（止水栓側）
④	給水ホース袋ナット	⑨	給水ホース袋ナット
⑤	レンチ		

- キャップ①を外してください。
- 本体側の袋ナット④にパッキン②を合わせて締めこんでください。この際、ホースは下向きに向けてください。

- ※ 袋ナットはパッキンを入れて手で硬く締めこんでから、工具を用いてさらに約半回転させてください。締めすぎは水漏れの原因となります。
- ※ 給水ホースが接続部に対して必ずまっすぐ取り付けられていることを確認してください。斜めに取り付けられていると水漏れの原因となります。

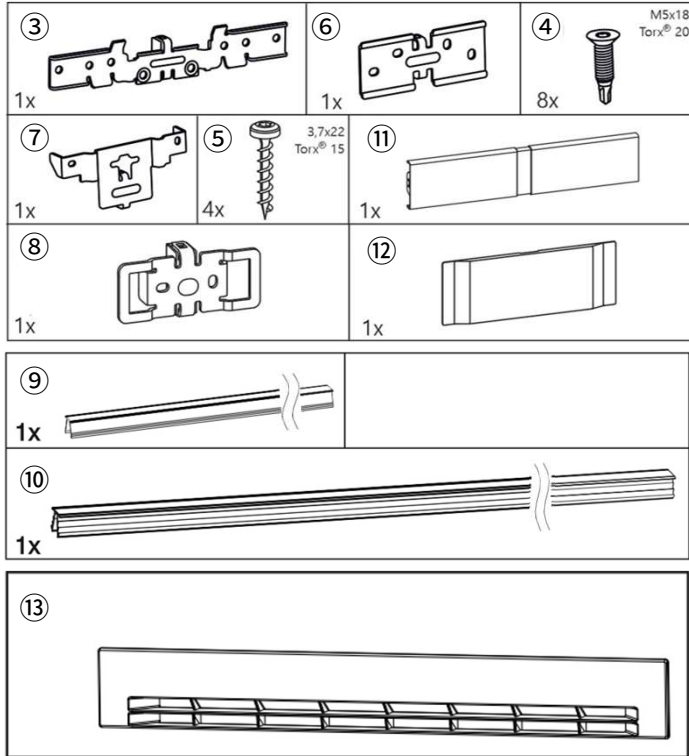
【付属の1.5mホースを使用する場合】
上記イラストを参考にして、本体同梱のレンチを使用してください。

【オプションの3mホースを使用する場合】
※ 1/2" x 3/4" 袋ナット付きエルボ 同梱
モンキーレンチまたはウォーターポンププライヤ等を用いて締めこんでください。
※ 工具が大きすぎると、上手く締め込みができませんのでご注意ください。

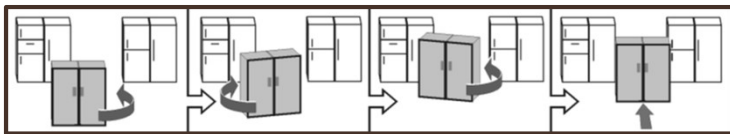
- 止水栓側の袋ナット⑨にパッキン⑦を合わせて締めこんでください。

本体の接続

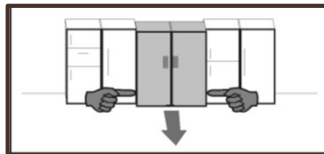
同梱部品



- ※ 本機器の設置にはトルクス 25 / 20 / 15 が必要です。
- 機器を接続する前に、設置場所に可能な限り近くに据え付けてください。
 - 機器を動かす際は、必ず前面のコーナーを持ってください。決して機器側面やドアを膝で押さないでください。
 - 接続された機器は、左右交互に斜めに動かすと比較的容易に移動できます。設置場所の前に位置を合わせてから、まっすぐに押し込んでください。



- 機器を手前に引き出す場合は、下側を持って手前にまっすぐ引いてください。



- 機器を移動させる前に、高さ調整ボルトを締めこんで縮めてください。移動中に床を傷つける危険があります。
- 機器の移動時には床に養生を行ってから移動させてください。

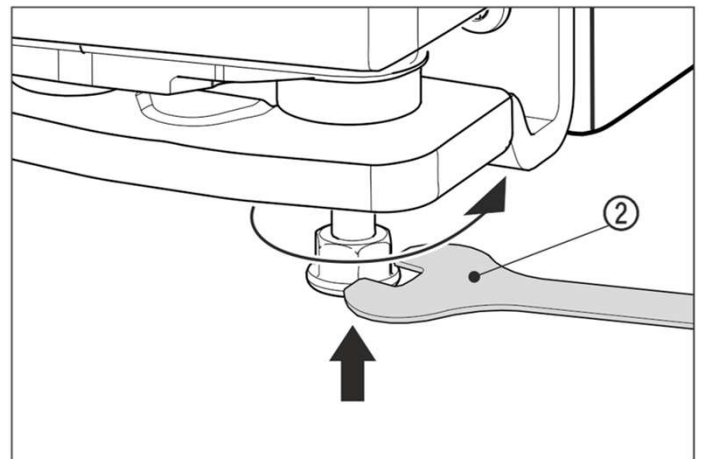
⚠ 注意

- 本機器は重量物のため、作業時にけがのおそれがあります。
- 機器同士の接続作業は十分注意して作業してください。

使用工具

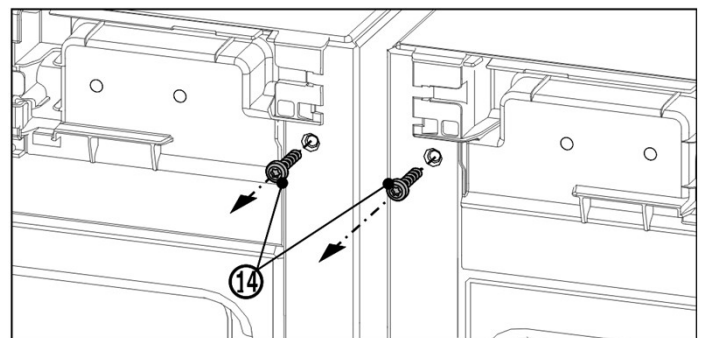


水平の調整



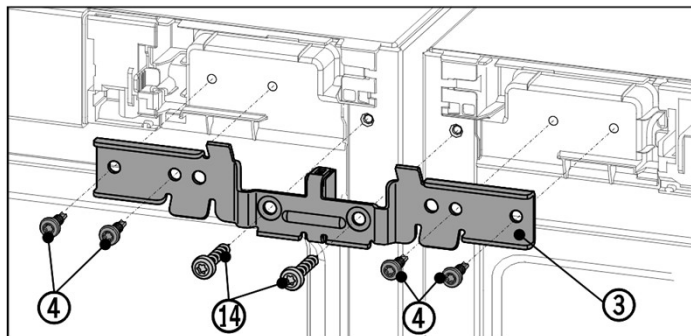
- 両機器の中間が10ミリ離れた状態にします。
- 付属のスパナ ② で機器の脚部分を調整し、両機器の水平を確認します。
(右回転：上昇 左回転：下降)

機器前面上部



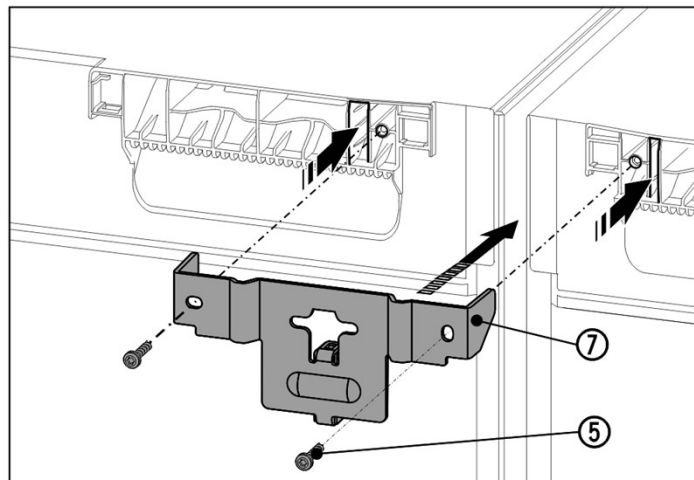
- 機器前面上部に取り付けられているカバーを取り外します。
- 機器前面上部のブラケットを取り付ける前に、ビス ⑭ を取り外します。

本体の接続



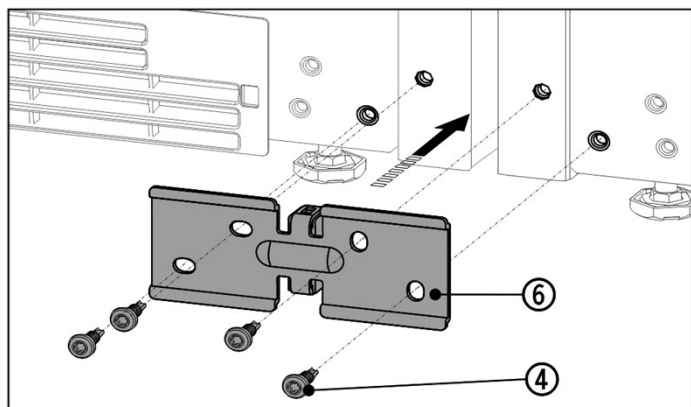
- ブラケット ③ を付属品のビス ④ で仮留めしてください。
- 機器の水平を確認してください。
- 必要に応じて、機器の高さを調整してください。

機器背面上部



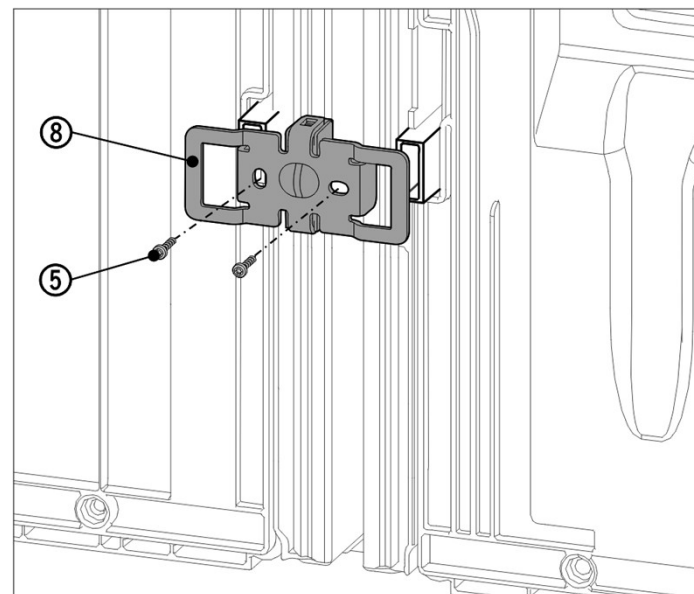
- ブラケット ⑦ を付属品のビス ⑤ でしっかりと締めこみます。

機器前面下部



- カバーを取り外してください。
- ブラケット ⑥ を付属品のビス ④ で仮留めします
- 機器の水平を確認します。必要に応じて機器の高さを調整します。
- 水平と高さが確定したら上部・下部のブラケットビスをしっかりと締めこみます。

機器背面下部

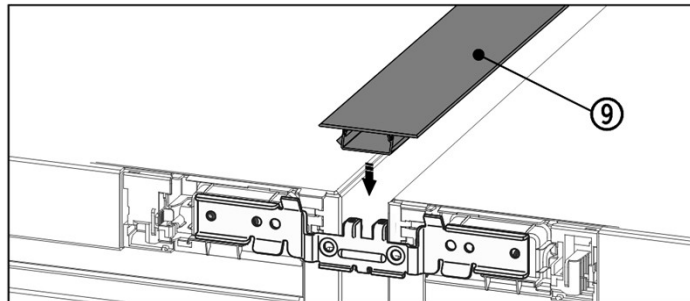


- ブラケット ⑧ を取り付けます。
- 付属品のビス ⑤ でしっかりと締めこみます。

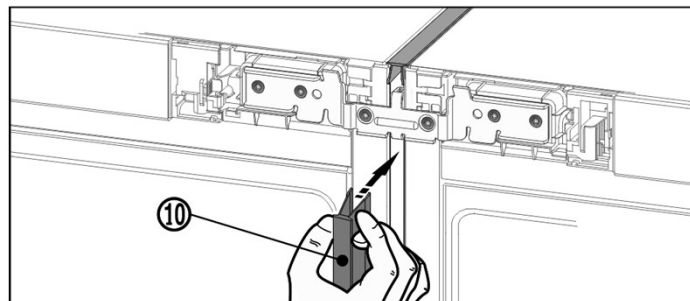
本体の接続

ジョイントモールの取り付け

機器天面

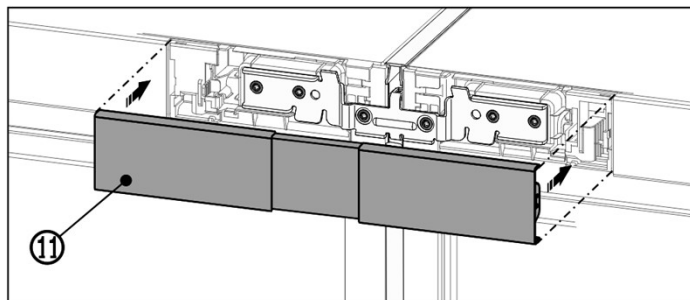


機器前面

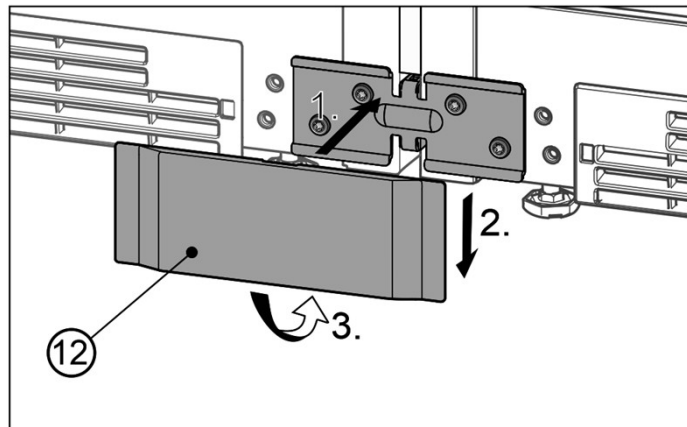


- 表面を凹ませないように、ジョイントモール⑨・⑩を押し込み取り付けます。押し込む際には柔らかい布等を用いてください。
- ジョイントモールがきちんと収まるように、まっすぐ押し込みます。

機器前面カバーの取り付け

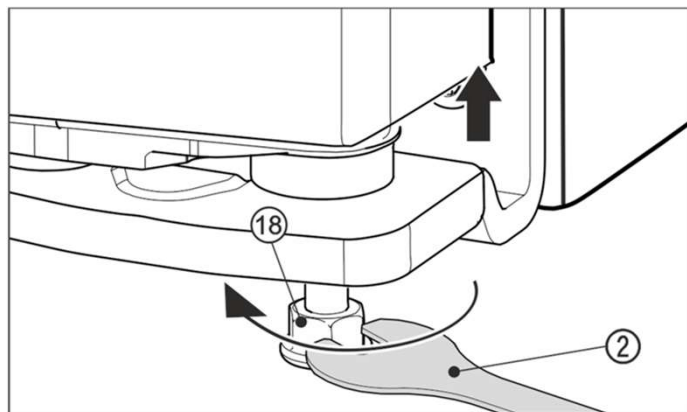


- カバー⑪を機器前面上部に押し込んで取り付けます。



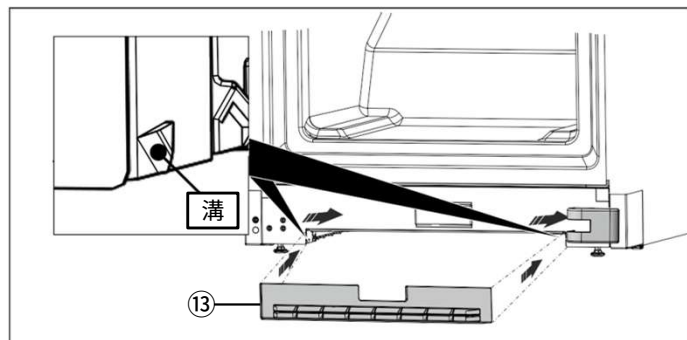
- 機器前面下部のブラケットにカバー⑫を合わせます。
- カバー⑫の裏側上部の溝をブラケットの上部に引っ掛けます。
- カバー⑫の裏側下部の溝をブラケットの下部にはめるように押し込み、取り付けます。

機器の水平調整



- 必要に応じて付属品のスパナ②で機器の脚⑱の高さを調整し、両機器を水平にします。

ベーストリムの取り付け



- 機器底面内側の溝に合わせて押し込み、ベーストリム⑬を取り付けます。

本体の接続

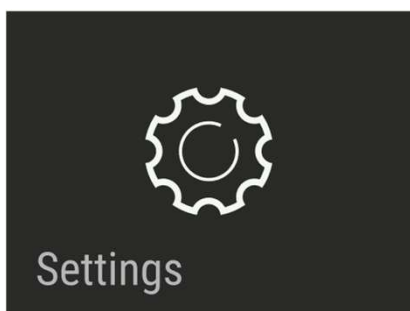
注意

- 据付が完了した後は、本体がしっかりと接続されているか、ドアの開きに問題がないかの確認を必ず行ってください。
- 給水接続をした場合は、漏水チェックおよびアイスメーカーの試運転を必ず行ってください。

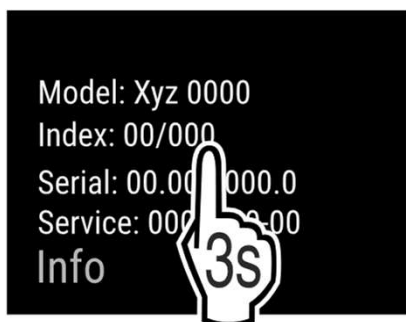
アイスメーカーの試運転

- 給水接続をした場合は、必ずアイスメーカーの試運転（注水テスト）を行ってください。
- アイスメーカーの試運転前に止水栓が開いていることを確認してください。
- ※ ドロワー内にもものが入っている場合は、必ず取り出してください。
- ※ 注水確認時に製氷皿に注水が行われます。溢れた水が庫内にこぼれ落ちますので必ず受け用の容器等を設置してから行ってください。また、庫内にこぼれ落ちた水分は作業後に必ず拭き取ってください。
(容器の推奨サイズ：幅130x長さ250x深さ80mm)

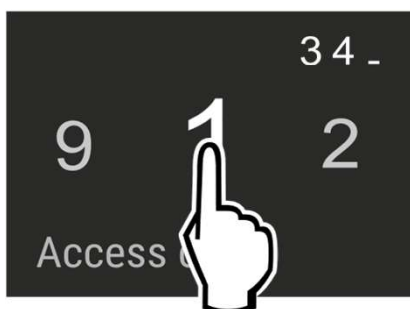
1. サービスメニューへのアクセス



- 画面を左右にスワイプし、設定シンボルを表示させて、画面をタッチします。



- 画面をスワイプし、機器情報画面を表示させます。
- 画面を3秒間長押しして、アクセスコードの画面を開きます。



- アクセスコードは「341」です。画面を左右にスワイプして、タッチで1桁ずつ数字を入力します。

2. 給水電磁弁の起動

- 画面をスワイプして「04」を選択し、画面をタッチします。



- 一度ロゴが表示された後に画面がサービスモードに切り替わります。

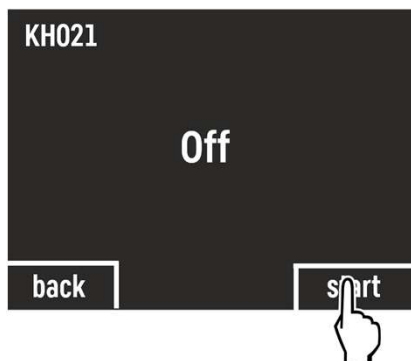


- 画面をスワイプして、「KH021」を選択して、画面をタッチします。



アイスメーカーの試運転

- 画面が切り替わったら、右下の「start」をタッチします。



- 「Off」が「On」に切り替わると、給水電磁弁が起動します。



- 『ブー』という音（給水電磁弁が開く音）と同時に、給水されます。
- 製氷皿に注水が確認できたら、「stop」で注水を止めてください（画面上の表示が「Off」になります）。
- 左下の「back」でサービスメニュー選択画面に戻ります。

- ※ 注水は自動的に止まらないので水量に注意してください。
- ※ 庫内に付着した水滴等は必ず拭き上げを行ってください。

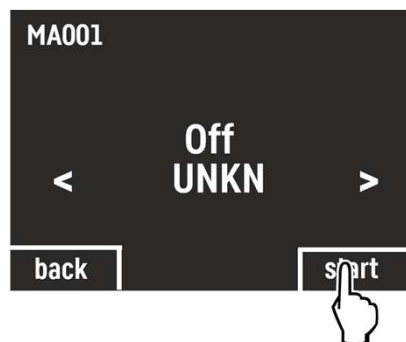
3. アイスメーカーの動作確認

- ※ 製氷ドロワーのセンサーに反応しないと作動しないため、必ず製氷ドロワーをセットしてからアイスメーカーの動作確認を行ってください。（右側ドロワーは外しても作動しますので、確認の際に適宜外してください。）
- ※ ドロワー内に物が入っている場合は、作業前に必ず取り出してください。

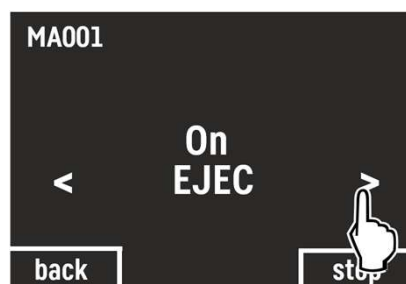
- 画面をスワイプして「MA001」を選択して、画面をタッチします。



- 画面が切り替わったら、「start」をタッチして、「On」にします。

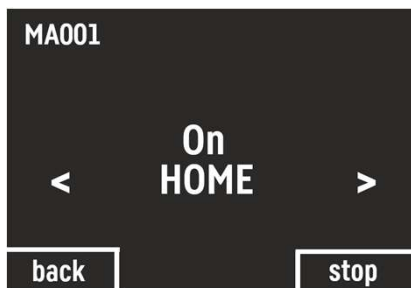


- 「On」の状態のまま「EJEC」が表示されるまで、「>」をタッチします。
- この画面を表示させると製氷皿が回転し始めます。

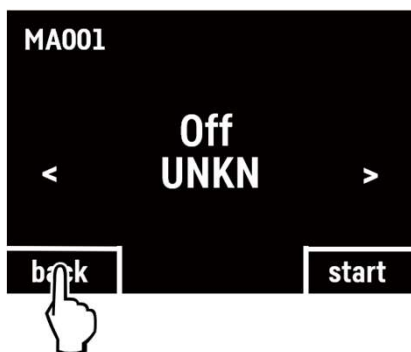


アイスメーカーの試運転

- 製氷皿の回転が確認できたら、「>」をタッチして「HOME」を表示させます。
- 回転した製氷皿が元に戻ります。元に戻ったことを確認してから、右下の「stop」をタッチして「Off」にします。



- 左下の「back」をタッチします。

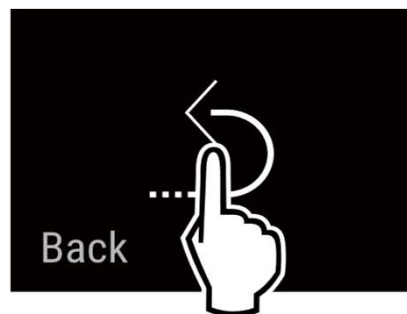


- ※ 注水確認を行った際に製氷皿に入った水がこぼれ落ちるので、終了後は必ず庫内を拭きあげてください。
- ※ 注水量によってはドロワー前方のパネルより水が漏れることがあるので、ご注意ください。

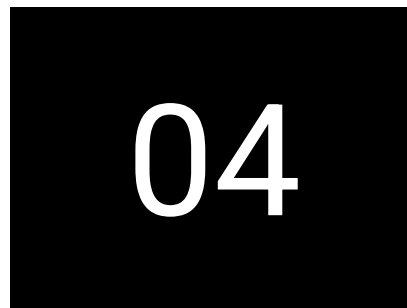
- 「MA001」の画面に戻ります。



- 画面をスワイプし「Back」のアイコンをタッチします。



- 「04」の画面に戻ります。



- 画面をスワイプし「Back」のアイコンをタッチします。



- ロゴが表示され、製品が再起動しますのでドアを閉じてください。



- ドイツLIEBHERR社は品質・性能向上のため絶えず改良を重ねております。
- 機器の仕様は予告なしに仕様が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

1010925

インタックSPS株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-5 NREG銀座ビル5F
TEL: 03-6264-2970 FAX: 03-6264-2973
E-mail: info@intac-sps.co.jp
Web: www.intac-sps.co.jp

＜お問い合わせ フリーダイヤル＞



0120-915-546

【受付時間】

9:30 ～ 17:30（土日・祝日・夏期・年末年始の休業期間を除く）